

同友ひろしま

No. 512

2025.3.20



発行

一般社団法人
広島県中小企業家同友会

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ8F

TEL (082) 241-6006 FAX (082) 241-6007

E-mail: info@hiroshima.doyu.jp

編集責任者・広報部長 小谷 伸子



広島同友会ホームページ



「労使見解」（発表から50年）は
経営のバイブル！

- P2・事業継承に思う事
- P3・ひろしま経営指針塾 指針発表会
- P4・広島中支部オープン例会
- P5・青年部9支部合同例会
- P6・働きがいのある職場の作り方
- P7・共に生きる地域づくりフォーラム2025
- P8・広島・島根地域共生合同例会/公正取引委員会との懇談会
- P9・新会員のご紹介/ベスト15
- P10・本の出版（中尾経営・おか半）/会員名簿アプリ

【今年度のスローガン】

Human First!

～新時代へ挑戦～

3月1日現在の会員数 3,022名

広島北支部 経営労働委員会勉強会

事業継承に思うこと～引き継いで、バトンタッチした経験から

報告者：㈱デイ・リンク 相談役会長 川口 護 氏（同友会相談役・広島中支部）

広島北支部経営労働委員会では、2月5日に事業継承をテーマに体験報告から学ぶ勉強会を開催しました。報告要旨を以下ご紹介します。

■事業を続ける理由は「地域への奉仕」と言われて

私は5人兄弟の三男として生まれました。父の強い勧めで商業高校へ進学。卒業後は東京でNECに就職しコンピュータと出会い、やりがいを感じていました。

ところが、後継ぎのはずの長兄が上京して事業を始め、父から私に相談がありました。その時「どうして事業を続けるのか？」と尋ねたところ、「地域への奉仕だ」と言うのです。父の言葉に合点がいった私は、家業を継ぐことを決意。いばらの道の始まりでした。

「事業継承とは何か」と父に聞いたことがあります。答えは、「家族を守ることだ」。お客様、社員さんはもとより、一番身近な家族を守るためにも、事業を続けていかなければいけないということでしょう。この根っこの部分は大事にしないといけないと思いました。

■相次ぐ激震と経営者の責任

経営では共同経営者もいることから、ガラス張り経営に徹しました。公私混同させないためです。店は地域の繁盛店で多店舗展開も全く考えていませんでした。

ところが同じ地域に地元大型スーパー、さらに町内に市内大手チェーン店が出店。その時々店舗の建て替え移転や顧客維持のためのポイントサービスを導入して対応してきました。同業他社の常務さんからは「ポイントサービスは麻薬と同じ」と諭されたことをきっかけに、自社ポイントシステムを開発。リースも活用しキャッシュフローが改善し、「数年後はどんな会社にするのか」を考えるきっかけにもなりました。

その後、代表取締役役に就任し翌年父が他界。いざ父がいなくなると、「経営の重さ」をズシリと感じました。

1988年には「酒のスーパー」を展開し始めました。同友会に入会したのも同じ年で求人目的の入会でした。

そこで私の経営のバイブル『労使見解』に出会いました。ご存じのとおり「いかに環境がきびしくとも、時代の変化に対応して、経営者は経営を維持し発展させる責任が」あります。2025年は『労使見解』が発表されて50年。ぜひ前書きに書いてある4つの点から学んでいただければと思います。

■いつか来る危機に『汝能備（なんじよくそなえよ）』

会社を維持発展させるために備えは重要です。危機

に備えて儲けは企業に備えておきたいところです。

本能寺の変の史実に関して、頼山陽も漢詩に「敵在備中汝能備（本当の敵：秀吉は備中にあり、なんじよくそなえよ）」と備えの大切さを残しています。

またP/L（損益計算書）に感わされてはいけません。銀行に言われてただ三期分の決算書を出すのではなく、今後こうしていきたいと経営指針や数値計画、ビジョンで伝えることが大事です。

現在、わが社ではB/S（貸借対照表）重視、キャッシュフロー重視、自己資本重視で、新しい時代に対応すべく変化しています。倒産は犯罪だと教わりました。

■理念『お客様には満足を、社員には幸せを』の追求

現社長は長男で、東京に進学して銀行に勤めたのち、わが社に入社。同友会にも2010年に入会しました。『労使見解』、人を大切にする経営を理解してもらった上で事業継承しようと思ったからです。

事業継承にあたって、現社長にお願いしたことがあります。それはガラス張り経営の徹底、公私混同を避けることです。「この領収証は明日のわが社のために役に立つのか？」、これが判断基準になっています。

会社は、売れる価値ある会社に育てることが大事です。目標は自己資本比率50%。2022年に自己資本比率が30%になり、私は代表取締役を退任しました。

近年は、企業の維持存続と社員さんの安心・雇用維持のため、店舗を整理し、繁盛店として地域の要望に応えられる店をめざして再構築中です。この先だれが継いでも大丈夫な会社、社内から経営トップを任せられる会社になるよう準備を進めています。

わが社の経営理念は「お客様には満足を、社員には幸せを」です。この理念を共有し実践するために、生きがい、働きがいのある企業・職場づくりが大切です。

また、二宮尊徳の言葉「道徳なき経済は犯罪、経済なき道徳は寝言です」をいましめに、道徳（理念）と経済（利益）を同時追及しています。

㈱デイ・リンクに勤める喜びが共有でき、理念の実践が成長発展に結びつくように、我々の働きで、我々の生活を向上し、より良い会社を作っていきたいと思っています。

（記：事務局 青芝）



報告者 川口 護氏

会社概要

創立：1918年6月／設立：1966年7月
資本金：4,200万円 年商：27億1,000万円
従業員数：134名
事業内容：酒と生鮮のスーパーマーケット
URL：https://www.day-link.com/



第8期ひろしま経営指針塾 第8講 経営指針発表会

今年は23名が経営指針を発表！

2024年7月に開講した「第8期ひろしま経営指針塾」は、2月15日（土）に第8講最終講が広島エアポートホテルで開催されました。当日は塾生23名が経営指針を発表しました。

■指針塾オブ・ザ・イヤーが決まる

午前中は、4つのグループごとに経営指針を発表し、質疑応答やコメントを出し合いました。午後からは、グループ代表4名により全体発表会を開催。参加者全員が採点し、指針塾オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）を選出しました。

今年度のオブ・ザ・イヤーは、4グループ代表の旬ベルエールの金口志織氏に決定しました。今年は準オブ・ザ・イヤーとして、経営指針書の内容にちなんだ3つの賞が作られ、賞状が贈られました。



アイデア・スパーク賞。1グループ代表、ネットマーケットジャパンコーポレーション㈱の河口玄氏。

アントレプレナー賞。第2グループ代表、三次フードセンター㈱の三田武志氏。

ドリーム・エクスパンド賞。3グループ代表、㈱グローバルロードの梶川真路氏。

4名の経営指針書は、どれも甲乙つけがたく、皆さんは採点に熱が入っていました。

■サポーターからのエール

総括講義の後、サポーター代表からも、今日のこの熱は誰かに影響されて、冷めることがあります。落ち込んでしまうこともあります。会社で経営指針を発表すると、社長、これって儲かるんですか？なんて言われて、厳しい評価を受けることもあるかもしれません。でも、皆さんが会社のために一生懸命考え、経営指針書を作り上げたことだけは忘れないでください。その想いを社員の皆さんにしっかり伝えられれば、会社全体に良い影響が広がるはずです。この勢いのまま、ぜひ自社の発展のために、自社で経営指針を発表してく

ださい。とのエールが贈られました。

■これからも一緒に挑戦していこう

最後に藤原第8期塾長から、この半年間をかけて今日の発表を迎え、覚悟が決まったと思います。もし、まだ覚悟が決まっていないとしても、必ず行動を起こすときが訪れます。時間を自分の学びのために使うことこそが、人生や未来を決めることにつながると思います。未来は、今の自分がどう行動するかで変わっていくものだと考えています。未来を創るためには、自分で学び、自分の道を切り開く必要があります。指針塾を通して皆さんはすでに軌道に乗り始めています。ただし、まだまだ課題はあります。今の自分の知識には限界もあるかもしれません。しかし、それを乗り越えるための覚悟を持って、今日から実践していくことが重要です。自分で決めたことだから、不安に思う必要はありません。自分で決めたのだから、チャレンジを恐れず進んでいくことができます。今の気持ちを忘れず、今日から実践を積み重ねてください。そして、本当に自信を持てる日が来るまで、自分を褒めながら、笑顔で前に進んでいってください。また、ここにいる皆さんは一人ではありません。第8期の塾生、サポーターとして学び合い、これからも支え合うことも大切です。組織として、仲間とともに成長していくことで、より大きな力を発揮できるはずです。最後に、本日ここにいる皆さんの成長を心から祝福します。これからの挑戦を、共に頑張っていきましょう。今日はあくまでも修了です。結果を出すには10年かかります。これからが実践のはじまりです。しっかり実践して、来期の指針塾でサポーターとして引き続き学んでいきましょう、との挨拶で閉会しました。

■第9期の企画検討中

経営指針塾運営委員会では第9期（2025年度）の開催に向けて準備しています。詳細が決まり次第ご案内いたします。
（記：事務局 井谷）



広島中支部オープン例会 報告要旨

「ウ○コと呼ばれた男の企業再生物語 ～業界常識を打破し、夢が持てる企業へ」

報告者：(株)EVENTOS 代表取締役 川中 英章 氏

わが社は、俗にいう飲食小売り（仕出し）業です。パーティー・ケータリングサービスを主力事業にしており、広島を拠点に半径100Kmを商圏にしています。以前は多くの企業がこの仕事をしていましたが、次第にオンリーワン（ロンリーワン？）になってきました。同友会には20年前に採用を目的に入会しました。以後、新卒採用を続け、今では新卒者が社員の7割を超えています。



■「ウ○コ」と呼ばれたことが変化のきっかけに

バブル崩壊で仕事（パーティー）がどんどんなくなっていった時期、広島で唯一のソムリエのいるワイン居酒屋という業態を作りました。これが当たりし、調子に乗って店舗展開をした結果、財務業況が厳しくなりました。そこである方に相談に行ったのです。私が言うのは、愚痴ばかり。するとその方が、「要するに君の周りはハエばかりなんだな。それは君がウ○コだからだよ。蝶に集まってもらいたかったら、君が花になるべき」と言われました。自分が変わらなければならぬと決意した一言になったのです。

その後、ウェディングプランの会社との取引が始まり、V字回復を果たしました。途中まではコースで、途中からビュッフェといった、それまでの業界の常識を破る提案にも応えました。

■社員さんの家庭訪問で父上から言われた一言

2007年には初めて6名の新卒者に内定をだしました。先輩方のアドバイスで、家庭訪問をした時のことです。お父さんから「大学を卒業してまで働く価値のある仕事ですか」と言われました。

その時は、悔しくて腹が立つばかりでしたが、帰りの車中で「地域の同業他社の方々のサービス向上に革新的な刺激を与える会社になる！」という経営ビジョンが突然浮かびました。

■食を通した農村活性化事業

食品偽装などの問題がクローズアップされ、今では当たり前の、「安全・安心な食」が求められました。つまり、社会が認めてくれる事業をしなければならぬ、ということです。そこで農業に注目しました。

市役所に13年放置された農地を紹介してもらい、まさに開墾作業をしました。ただ農地にはトイレがなく、女性には大問題。トイレだけでも投資に数百万円かかるという。そこで出来上がったのが、レストラン付トイレ（笑）、吉山ビアンコです。

こうした取り組みを始めたことで、離職が急激に減っていきました。これも地域のおかげだと、何かお返しができないかと地域に希望を伺って出来上がったのがレストラン付き産直市「Oishi吉山」です。農家の持ってこられるものは全量買い取ります。規格外のものはすぐに調理に回しています。

こうした取り組みも認められ、「地域未来牽引企業」に選定されました。それが島根県江津市の有田温泉の再生事業に関わるきっかけになりました。

■幸せを追求する企業に

事業を進めるためには、社員との信頼関係確立が必要です。社員さんは経営者の損得勘定を観ています。信頼の前の、信用を得ることが大事なのだと思います。

その一つが財務諸表の社内開示です。社員さんが考える原資の情報を共有する、ということです。

働く環境の整備には、採用時の雇用契約の中に、職位ごとの担う役割と責任、賃金規定で未来の見える化、評価基準、ライフステージに合わせた業務設計などを示すことが大事です。休みなどの数字を挙げればよいというものではありません。一番大事なのは一人ひとりの誇りと働き甲斐ではないかと。

同友会が示す自主・民主・連帯の精神の深層には「人間らしく生きる」という意味が込められています。人間にだけ与えられた力、未来の夢を見ることが出来る会社にすることが大事だと。それを支えるものの一つが、社員参加による「10年ビジョン」です。

幸せをめざすところに人は集まります。幸せのリーダーシップを発揮しましょう！

(記：事務局 橋本)



第4回青年部9支部合同例会

「キョウイクをソウゾウし成長する～共に育み、成長する～」

2月22日（土）に青年部連絡協議会の主催で青年部9支部合同例会がTKPガーデンシティ広島で開催されました。今年の実行委員長は、寺上高央氏（榑寺上組 営業部長、呉支部）でした。参加者は170名でした。



寺上高央実行委員長

■ 3つの分科会を設営

当日は、3つの分科会に分かれて経営実践を交流しました。

第1分科会は「社員全員が輝くために～工務店二代目が重なるスモールステップ～」のテーマで、永本建設㈱常務取締役の永本和磨氏（広島西）。

第2分科会は「自己成長～役職を全うする中で出会えた仲間～」のテーマで、榑松田製袋代表取締役の藤川裕太氏（広島中）。

第3分科会は「成長の原動力～想い、学び、行動～」のテーマで、福祉美容まさや代表の大磯賢也氏（尾道）が報告しました。

3つの分科会に共通して、「原点に返ること」「行動すること」「社員との関係性と対話」が重要だと確認されました。

また、課題は「経営指針の実践と社員との共有」「継続的な実践の難しさ」。また青年部ならではの課題として「社内での経営者としての立ち位置と役割の模索」が共通しました。

ここからは青年部9支部合同例会実行委員長の寺上氏に寄稿いただきましたのでご紹介します。

（記：事務局 井谷）



第1分科会

■ 知恵が集まる

9支部合同例会は、各支部青年部会員が一同に集まり多くの学びを得ること、中国ブロック交流会や青年

経営者全国交流会でより多くの報告者を輩出するために行われる行事です。4回目となる今回は「キョウイクをソウゾウし成長する～共に育み成長する～」をテーマに170名が一堂に会して3分科会での学び・懇親を深める事となりました。

テーマで掲げた「キョウイク」は、教育・共育・協育の3つの意味を持ちます。

教育は、個人間で「教え育てる人」と「教え育てられる人」を指し、悩みや課題に多くの知恵が集まる事こそが同友会の強みのひとつであると考えています。

共育は、異業種の経営者が集まり体験報告やグループ討論を通して学びを深める事を表します。同友会でなくてはできない事です。



第2分科会

協育は、さらに学ぶために普段の活動の外にある交流や学びを意味します。ブロック行事や全国行事に参加し学びを深めること、同友会で得られる財産であると考えます。

今回の行事を通じて学んだ私自身のキョウイクとは、一つの組織の長としてどう関わり前進していくかです。掲げたテーマのもと、多くの人間が目を向け共感し関わり形にしていく。経営をする上でも自身の考えや行動を理解してもらい、共に進んで行くことの大切さを学びました。

広島同友会青年部という組織は「教え育てられる場所・教え育てる場所」だと認識させられました。支部を越えて多くの会員に支えられ、大役を務める事ができました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

（記：実行委員長 寺上 高央）



第3分科会

広島中支部 求人社員教育&地域内連携推進委員会 勉強会

働きがいのある職場づくりで会社を強くする ～広島ワークスタイルカンファレンス選出企業2社から学ぶ～

報告者：㈱SANKYO 代表取締役 宮迫 雄平氏
報告者：㈱寿木工 代表取締役 住岡 和美氏

広島中支部にて「働きがいのある職場の作り方」をテーマにした勉強会が1月31日に開催されました。これは求人社員教育委員会と地域内連携推進委員会のコラボレーション企画として、多くの参加者を集めました。

当日は、第3回広島ワークスタイルカンファレンス(注1)で選出された㈱SANKYOの宮迫雄平氏と、グランプリを受賞した㈱寿木工の住岡和美氏が報告。自社の取り組みを熱く語られたものをまとめました。



■㈱SANKYO: 社員と共に未来に向けた挑戦

当社は1961年に創業して今年で65年目を迎えました。事業は自動車販売業をしています。

人的資本経営について、初めて知ったのは同友会での勉強がきっかけでした。そこから広島県の「人的資本経営広島」に興味を持ち、取り組み始めました。

「人的資源」と「人的資本」の違いは、資源は、人材を事業のために消費するコストとして減少するものです。資本は投資と捉えて成長を促進するものと学び、この考えを自社でも取り入れ、社員の育成に力を入れています。

創業時ガソリンスタンド事業をしていましたが、現在は自動車販売業に特化しています。業態転換に伴い、社内の働き方改革を行いました。特に「働きやすさ」と「やりがい」の両立を目指しています。女性活躍や仕事と家庭の両立支援にも積極的に取り組んでおり、今では重要な役職で女性社員が活躍しています。

さらに、健康経営にも力を入れ、健康優良法人の認定を受けました。心身共に健康になり幸せで豊かな人生を共に歩めるよう努力しています。

経営者は、共通の目的や思いを社員に伝えることが大切です。なぜ取り組むのかを明確に伝えることで本気で関わってくれます。働く社員がいるからこそ、会社は成長することができます。これらを肝に持ってこれからも社員と共に歩み続けていきます。

■㈱寿木工: 働き方改革と人的資本投資で企業の成長を加速する

当社は、東広島市安芸津町で木製ドア枠の製造を行っています。経営理念は、「世に必要とされる企業をめざし、人に必要とされる人間をめざす」です。

「働き方改革」への取り組みには強い意識を持ち、社員の労働時間や安全対策の改善に力を入れています。具体的に音声認識技術の導入し、人的ミスや社員のストレスを軽減することに繋がりました。その他にも5S活動や改善提案制度を設けました。社員一人ひとりが提案できる場を作ることで、社内の環境整備と生産性向上につなげています。

これらの取り組みの結果、残業時間は20.3時間、有給消化率は71%、平均年収は一昨年と比較して約6%引き上げることができました。働き方改革が社員の待遇改善につながり会社全体の成長を促進しました。

人的資本への投資として、年商の1%を教育費に充てています。求人活動はもちろん、現在の社員への投資にも力を入れ能力を高めることで、売上の安定や生産性向上を実現しています。物的資本と人的資本をバランス良く投資し、将来に向けて持続可能な企業作りを目指しています。

(注1) 広島ワークスタイルカンファレンスとは

中国新聞社と広島県社会保険労務士会が主催している取り組みです。「この街での働き方」を学び、発見し、共有するプロジェクトです。働き改革に取り組み、実践する企業を選出し、官民一体となって推進しています。県内の大学生も参加して投票を行いグランプリなどを選出しています。

(記：事務局 大塚)

共に生きる地域づくりフォーラム2025

「知ることから始まった人を生かす経営～すべての人が働くことを通じて幸せになる社会づくり～」

(2025.2.22)



■株式会社ニシキプリント 宮崎 真氏（広島西）

当社は今年で58年目の印刷会社です。創業当初から縁あって障がい者雇用を進めてきました。現在は福祉系事業所の運営のほか、障がいを持った方のグループホームの運営を行う予定です。印刷業界はコロナ禍でデジタル化が一気に進み、業界全体が岐路に立ちました。当社も会社の良いところを見つめ直した結果、障がい者雇用が強みだと気づきました。

ニシキプリントでは現場の属人化を極力減らし、障がいを持った人の仕事の幅を広げたいと思っています。実際に障がいではなく、特性や個性に合わせて業務を振り分けています。中には内職仕事からパソコンを使った仕事に代わった社員もいます。個人の適性を見て自社のどの仕事に合うのか見つけるのは、社長の仕事の一つです。社員と一緒にそれを考えるのも楽しい仕事です。

これからは障がい者雇用だけではなくもっと企業や行政、学生など地域のひとと支え合いながら地域の課題解決をめざし、その中核になる企業になりたいと考えています。

■新和金属㈱ 新谷浩之氏（広島東）

創業は昭和34年、自動車部品のメッキ加工をしています。従業員は89名で7名の障がいを持った方が働いてくれています。自社のスローガンは「和クトリー」です。ファクトリー（Factory）のFをW（和）にした造語です。これは年齢とか立場に関係なく意見が言える雰囲気、適材適所で能力を発揮できるなどの思いを込めています。

自社では新和金属とは別に就労移行支援事業所「すみっこテラス」を運営しています。これは障がいのある方の一般企業への就職を支援する福祉サービスで、もっと戦力として障がい者雇用を行う企業が増えてほしいと思い私が始めました。

新和金属で働く障がいを持ったある社員は、特定の

仕事において社内ではトップクラスの仕事をします。給与は人事評価制度に基づいており、障害や国籍に関係なくすべてフラットです。多くの企業には障がいを持った社員も一般採用と同じように戦力として採用する選択肢の一つとして考えてもらいたいと思います。

■トーホー㈱ 山仲 巖氏（広島北支部長）

当社は今年74年目で、ガラスビーズの製造販売を行っています。ガラスビーズで明るく記憶を照らすということを理念に、私たちの可能性を広げることを考えてきました。

現在、長崎の障害者事業所と連携してアクセサリーブランドを作っています。きっかけは約5年前に、ビーズを分けてほしいという電話でした。そこから自社がビーズを提供し、事業所で作られたアクセサリーを自社の営業ルートを活用して販売支援をしています。

この取り組みは何か新しく始めようと思ってスタートしたものではなく、周囲の要望に応じてきた結果の一つです。アクセサリーを作った利用者さんの給料が時給換算で監督者のよりも高くなったと聞き、我々もやっていた良かったと実感しました。障害者雇用は会社の現状と照らし合わせて、出来ることから始めるのも方法の一つだと思います。

自社が出来ることを出来る範囲で行い、これをみんなが幸せになるビジネスにしていくことは企業家の強みだと思います。

■コーディネーターまとめ

㈱トモエ 高丸和志氏（広島北支部地域共生委員長）

私は人を生かす経営をめざす同友会の中で地域共生委員会が取り組む問題こそ、同友会の一丁目一番地だと思います。地域共生委員会に興味関心がなかった人にはこのフォーラムを通じ、まずは知ってもらいたいと思いました。これからも地域共生委員会から様々な発信をしていきたいと思っています。

(記：事務局 本田)



当日の会場の様子

地域共生委員会

島根同友会との
拡大交流会を開催

2025年1月31日、広島県中小企業家同友会広島エリア地域共生委員会と島根県中小企業家同友会障害者問題委員会が、松江市のモルツウェル㈱を会場に拡大交流会を開催しました。

本交流会は、両県の委員会が連携し、企業の地域共生や障がい者雇用の取り組みについて学び合う貴重な



機会となりました。

当日は、まずモルツウェル㈱の会社ガイダンスが行われ、同社の事業内容や障がい者雇用への取り組みについて説明を受けました。続いて工場見学では、実際の作業現場を視察し、設備や就労環境について理解を深めました。見学後の質疑応答では、参加者から積極的な質問が寄せられ、具体的な支援策や職場環境の工夫などについて活発な意見交換が行われました。

その後、島根・広島両委員会より、それぞれの活動報告が行われ、各地域での取り組みや課題について共有しました。これにより、今後の協力関係をより強化し、共に学び合う姿勢を確認する場となりました。最後に記念撮影を行い、参加者同士の親睦を深めつつ、会を締めくくりました。

本交流会を通じて、障がい者雇用の促進や企業の社会的責任について改めて考える機会となりました。今後も地域を越えた連携を深め、より良い共生社会の実現に向けた取り組みを進めていくことが期待されます。

(記：県地域共生委員会副委員長 板垣多一)

県政策委員会

公正取引委員会との懇談会 開催

2月10日、広島事務所にて公正取引委員会との懇談会を開催しました。公正取引委員会中国支所からは唐澤支所長含め3名、同友会からは13名が参加しました。

この懇談会では、価格転嫁をはじめとする最近の活動状況とフリーランス新法について公正取引委員会よりご報告いただいたのち、意見交換を行いました。

懇談会の開会に際し、宮崎政策委員長から2024年度第2回 政策アンケートの結果を抜粋した上で「厳しい状況に置かれている」と報告を交え、あいさつを行いました。

中国支所 唐澤支所長のごあいさつの後、公正取引委員会より次の2点について報告がありました。1)「令和6年度価格転嫁円滑化の取組に関する特別調査」の

結果等について。2) フリーランス・事業者間取引適正化等法の取組等について。報告後、「気軽に相談をしてほしい」と呼びかけました。

その後、報告や事例をもとに、活発な意見交換・質疑応答を行いました。

瀬島副代表理事よりおわりのあいさつとして、「政策アンケートの結果より、価格転嫁が進んでいないと回答した会員は半数以上（※まったく出来ていない：29%、1割～2割程度：33%）いる。自らをもって経営環境を変えるべく、活動を続けていきたい」と、まとめました。



閉会あいさつを行う瀬島副代表理事



公正取引委員会との懇談会 報告の様子



1) 特別調査結果について
公正取引委員会HP



2) フリーランス・事業者間取引
適正化等法の取組等について
公正取引委員会HP

(記：事務局 橋詰)

新 会 員 の ご 紹 介

2月の支部理事会で承認された皆さんです。

支部名	地区名	会 社 名	役 職	氏 名	会 社 住 所	推 せん 者 名
広島中	中②	橋本電気管理事務所	代 表	橋 本 宏 治	呉市焼山宮ヶ迫1-6-23	高山 誠司
			会 社 概 要			
			自家用電気工作物（キュービクル等）保安業務			
	中③④	(株)リトルバンブー	取 締 役	水 場 裕 之	堺市北区中百舌鳥町2-69-402 ラ・レックス中もぎBSビル4F	一久保直也
			美容室・ネイルサロン・アイサロンを運営しています			
	中⑨	(株)Estimmo	代表取締役	福 富 孝 輔	広島市西区己斐中3-5-2	山口 哲司
広島東	中⑨	(株)Clear Box	常務取締役	高 原 良 平	広島市中区銀山町11-20	大石 剛史
			ナイトクラブ運営 コンサルティング業 ヴィラ・宿泊施設の運営			
	中⑨	(株)ライブホーム	代表取締役	佐々木 祐 介	広島市中区上鞆町1-15 1F	山口 哲司・佐藤 英治
			不動産売買			
広島南	中⑨	(有)畑 賀 建 設		山 根 大 地	広島市安芸区畑賀2-10-16	大石 剛史
			一般土木 造成工事 給水工事 下水工事			
	南①	水 都 装 業	代 表	植 竹 雄 社	広島市中区河原町5-27-901	川口 将人・水永 貴也
			建設業 内装業			
	南②	アイスタイル(株)	常務取締役	下 井 清 明	広島市中区中町7-35	蔵本 泰靖・荒木 農広
			不動産売買・賃貸管理業 テレビCM「あいしゅたいる」でお馴染み			
	南②	(有)ヒロシマ安全ビニール	代表取締役	濱 田 俊 平	広島市安佐南区西原2-15-3	蔵本 泰靖
			シルクスクリーン印刷業 ビニール製品加工業			
広島北	南③	ケイエルティ(株)	代表取締役	倉 澤 照 幸	広島市西区南観音5-8-24-6	吉岡 竜一・安達 彰輝
			解体 土木			
	南③	(株)リベリアス	代表取締役	迫 丸 友 博	広島市西区小河内町2-23-1-201	深谷 泰之・山脇 陸斗
			自動車販売・買取業			
	南③	Regista	代 表	田 坂 渉	広島市中区三川町2-1 サンリバービル301	東 祐介・鈴木 麻里
			サッカー観戦やダーツなどのエンターテインメントをメインにしたスポーツバー			
広島北	南④	(株)forcard	代表取締役	酒 井 雄 平	広島市中区八丁堀1-23-1208	島原 智子・普光院 誠・ 檜山 裕亮
			HP制作をはじめ、WEB広告を広く行っております			
	南④	リビング・ユー	代 表	田 中 藤 恵	広島市中区銀山町11-24	北 政行・檜山 裕亮
広島北			飲食業です アットホームな店作りを目指しています			
	安佐北	(株)オートノマス	代表取締役	湯 本 隼 士	広島市安佐南区古市3-5-26 第7やたがいビル102号室	今津 正彦
福 山			ITシステム導入支援 機械設計・制御・電気設計・自動化シミュレーション			
	B	井 上 創 建	代 表	井 上 俊 太	福山市野上町2-6-6-601	吉山 聡・藤原 留衣
			エクステリア			
福 山	E	相席BAR encount	代 表	高 智 浩 貴	福山市明治町1-3 クレスト明治町1-A	山本 晃二
			お酒の提供・ダーツ・カラオケ 40人～50人ぐらい収容可能			
呉	S	竹 中 工 業 (株)	取 締 役	竹 中 誠	府中市用土町1-1	立石 克昭・下垣内基文・ 掛江 悦史
			油圧式テーブルリフト・搬送機器・産業用機器等の製造・点検・修理 その他製缶加工			
呉	呉南	(株)アソートフジ	取締役副社長	室 澤 秀 明	呉市音戸町高須3-11-6	渡辺 峰男・中里 嘉孝
尾 道			製鉄所・冷凍機設備メーカー・造船所等の設備保守メンテナンス業			
		オノミチファッションワークス	代 表	吉 田 さちえ	尾道市美ノ郷町本郷1462	坂口 公彦
東 広 島			洋服のデザイン・製作とトータルコーディネートオーダーで承ります			
	東広島西	J A M	代 表	萩 原 明日香	東広島市西条岡町2-12	下條 孝志
			スタンド			
	東広島西	J A M	副 代 表	道 面 純 子	東広島市西条岡町2-12	下條 孝志
東 広 島			スタンド			
	東広島東	(株)ハートグランド	代表取締役	西 本 伊 織	東広島市三永3-8-26	松尾 信宏・藤原 卓実
			介護保険事業			

広報部より

広報部では、e.doyuのログイン率、例会への参加登録率などを毎月ご紹介します。e.doyuの活用率を高めるとともに、地区会の活性化につながれば幸いです。

e.doyuアクセス率Best15

(2月にe.doyuに一度以上アクセスした方の率)

順位	支部	地区会名	アクセス率
1	広島東	南②	80.3%
2	広島東	南④	78.8%
3	尾道		73.6%
4	福山	D	73.4%
5	福山	S	70.8%
6	備北		70.3%
7	広島中	中①	70.0%
8	広島東	南①	68.5%
9	福山	F	68.4%
10	東広島	東広島東	68.2%
11	福山	B	67.7%
12	広島東	安芸	67.5%
13	福山	J	66.7%
13	三原		66.7%
15	福山	G	65.2%
県平均			61.4%

例会出席登録率Best15

(2月中に自地区会(支部)の例会に自分でe.doyuから出席登録した方の率)

順位	支部	地区会名	出席登録率
1	福山	G	56.5%
2	広島東	南②	44.6%
3	備北		43.2%
4	広島中	中①	40.0%
5	広島東	東	39.1%
6	広島東	南③	36.5%
7	福山	D	35.9%
8	三原		35.6%
9	福山	S	35.4%
10	呉	芸南	35.0%
11	広島西	佐伯	34.7%
12	福山	I	34.6%
13	福山	K	32.4%
14	呉	呉南	31.2%
15	広島西	廿日市	30.6%
県平均			26.0%

入会率Best15

(2024年度の入会者数/期首会員数)

順位	支部	地区会名	入会率
1	東広島	東広島西	20.1%
2	広島東	南③	19.3%
3	広島東	南②	18.1%
4	広島東	南④	16.5%
5	東広島	東広島東	15.7%
6	広島東	南①	15.4%
6	備北		15.4%
8	福山	B	13.4%
9	福山	I	13.0%
10	福山	K	12.2%
11	広島西	廿日市	12.1%
12	広島東	東	11.9%
13	広島西	西	11.1%
14	広島中	中③④	11.05%
15	広島中	中⑨	10.7%
県平均			10.1%

ちよつとした話

「部下が勝手に成果を出す！ リーダーの口ぐせ」発売！

呉支部会員の中尾友和氏（株中尾経営 代表取締役）による自著「部下が勝手に成果を出す！リーダーの口ぐせ」（Clover出版発行）が、昨年11月6日より全国の書店で発売中です。

同書では、リーダーとして身につけたい3つの力

①「目標設定力」／②「当たり前力」／③「心理開墾力」をわかりやすく解説。

「口ぐせを変えることでチーム全体の成果を劇的に改善する方法を伝授します。リーダーの口ぐせ一つで、部下は自ら動き、組織は稼ぐ力を倍增させます」

と中尾氏。明日から使える実践的な内容が詰まった一冊です。

なお、中尾氏は「倍增経営コンサルタント」としてもご活躍中。この渾身の一冊は、書店もしくはAmazonからご購入いただけます。

（記：事務局 木下）



自伝小説 「なにくそ！ライゾウさん」発売！

おか半創業者であり熊野町の暴れん坊大将 岡崎磊造氏（広島東支部）の自伝小説「なにくそ！ライゾウさん」が2月28日に発売されました。

友人、恩師、親戚、スタッフ、同業者、異業者、知らない人まで…。沢山の人を強引に？巻き込んで突き進んだライゾウさんのお面白すぎる人生劇場。

難病に倒れ、寝たきりになっても決して諦めない男、笑いと涙の奮闘記、その成長と希望・挑戦の物語に、きっと誰もが心が動かされるはず！

出版を手がけたのは、あの冒険企業家・植田紘栄志

氏が運営するぞうさん出版。

本は、Amazonで絶賛販売中です。また、おか半総本店でもご購入いただけます。

（記：事務局 児玉）



会員名簿アプリを活用しましょう♪

スマホでいつでも
会員検索可能！

ダウンロードや使い方は
QRコードからどうぞ！
（IDはe.doyuと共通）



名簿アプリの質問・ご要望等は事務局（担当：橋本）まで。
（電話：082-241-6006、mail：honbu@hiroshima.doyu.jp）

名簿アプリダウンロード率Best15
（3/3現在）

順位	支部	地区名	DL率
1	広島東	南②	99.4%
2	広島東	南①	87.9%
3	広島東	南③	87.8%
4	広島東	安芸	86.7%
5	広島東	南④	86.54%
6	福山	K	86.49%
7	尾道		86.40%
8	広島東	東	85.5%
9	福山	I	76.9%
10	広島中	中①	76.7%
11	広島西	佐伯	73.5%
12	福山	J	73.3%
13	呉	広東	73.0%
14	東広島	東広島東	72.7%
15	福山	B	72.3%
県平均			71.4%